

2021年1月29日

愛知障害フォーラム 御中  
愛知県重度障害者団体連絡協議会 御中

名古屋鉄道株式会社

謹啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は弊社業務に対しご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、過日弊社宛に頂戴しました、ホームドア設置およびホームの安全対策に関するご要望につきまして、下記のとおりご回答申し上げますので、ご査収賜りますようお願い申し上げます。

敬具

#### 記

1. すべての駅ホームにおいて危険個所の実態を調査し、危険個所(ホームに柱等の障害物があり通路幅が狭くなっている等)に対し、早急に安全対策を講じて下さい。

#### 【弊社回答】

駅施設につきましては、法律に基づき、適切に整備するよう努めております。

ホームの安全対策といたしましては、ソフト面においては、駅係員によるホーム監視のほか、駅や車内においてアナウンスによる注意喚起を積極的に行っております。

ハード面においては、非常の場合には、列車の停止手配がとれるよう、ホーム上に非常通報ボタンを整備しております。特に、乗降されるお客さまの多い名鉄名古屋駅や金山駅では、列車をすぐに止めることができるよう、係員が非常通報ボタンを携帯しております。

ホーム上で見通しの悪い所につきましては、カメラとモニター(ITV)を設置いたしておりますほか、列車とホームの間が大きく開いている箇所には、回転灯で注意を喚起する転落防止装置や転落検知マットを設置するなどの安全対策を施しております。さらに、利用客の多い駅において、駅を発車した列車の一番後ろの車両がホームを抜けるまで、運転士がホーム上での異常を確認することができる、「進出列車用の危急知らせ灯」を設置しております。運転士がこれを確認した場合は非常ブレーキにて直ちに停車いたします。

また、車掌がホーム上の異常を確認した際には、直ちに車掌非常スイッチを使用し非常ブレーキを動作させるよう、指導を徹底しております。

2. 駅の乗降客数だけでなく、福祉施設、病院等の交通弱者の利用が多い駅においても、優先的にホームドアを設置して下さい。
3. ホームドアが整備されていない駅については、駅員や警備員を配置してください。また、ホームドアを設置しているのにまだ稼働していない駅での事故が多発しており、視覚障害者は白杖がホームドアに当たると、稼働していると勘違いすることがあり、設置したら、一日も早く稼働させて下さい。
5. 特急電車の通過駅では、大変危険を感じます。このような駅にも、ホームドアを設置して下さい。

【弊社回答】

ホームドアにつきましては、国土交通省の「駅ホームにおける安全性向上のための検討会(中間とりまとめ)」において、1日あたりの乗降人員が10万人以上の駅で、整備条件を満たしている駅は、原則として2020年度までにホームドアを整備すること、また、整備条件を満たしていない駅は、整備条件を満たすための方策の検討や駅改良時に対応することとされており、当社の駅では名鉄名古屋駅と金山駅がこれに該当いたします。

ホームドア設置を検討するにあたり、当社の車両は長さや扉数が多岐にわたるために扉位置を限定できないことに加え、ホームの幅員や構造強度の問題など、解決しなければならない様々な課題がございます。

一方で、最近では技術開発が進み、新しいタイプのホームドアが開発されていることを受け、金山駅について、ホームドア設置に向けた各種検討を行なっているところです。

また名鉄名古屋駅については、大規模な再開発を予定しており、その一環において今後検討を進めてまいります。

なお、駅員配置駅におきましては、駅構内での移動や列車の乗降について駅係員がお手伝いさせていただいているほか、可能な限り積極的にお声かけをし、お手伝い・見守り・ご案内をさせていただいております。

また、駅員無配置駅におきましては、乗務員と管理駅から派遣する駅係員が連携し、速やかに列車乗降のお手伝いをさせていただくように努めております。

4. すべての駅ホームに、音声誘導チャイム設置や内方線付き点状ブロックを敷設して下さい。

【弊社回答】

音響案内装置や内方線付き点状ブロックの整備につきましては、国土交通省の「公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン」に基づき、順次整備を実施しています。

駅ホームの階段に設置する音響案内装置については、乗降人員が3千人以上の駅において、ホーム隙間や列車接近の警告音等との混同や隣接ホームの音源位置との錯誤による危険が生じない場合は、積極的に整備することが求められております。現在は全線において79駅に整備済みであり、今後も各駅のホームの特性を鑑みながら整備を実施していきます。(2020年3月末日現在)

ホームの内方線付き点状ブロックについては、乗降人員3千人以上の全駅で整備が完了しています。(2020年3月末日現在)

また、お客さまから連絡をいただければ、駅構内での移動や列車の乗降について駅係員がお手伝いさせていただいているほか、駅員配置駅におきましては可能な限り積極的にお声かけをし、お手伝い・見守り・ご案内をさせていただいております。また、駅係員によるホーム監視のほか、駅や車内においてアナウンスによる注意喚起を積極的に行っております。

6. 各駅舎・ホームにてアナウンスにおいて、他の線のアナウンスや、発車ベルなどの音に混ざってしまい、気付にくいときがあります。また、他の乗客の方に対して、障害者への配慮を促す掲示ならびにアナウンスを適宜行ってください。

【弊社回答】

今後もわかりやすいアナウンスを目指し、係員への指導・教育に努めてまいります。また、お客さまに鉄道などの施設を安全に安心してご利用いただけるよう、お困りのお客さまに対して社員から積極的にお声かけを行うとともに周囲のお客さまからもお声かけにご協力いただく取り組みである「声かけ・サポート」運動強化キャンペーンを他交通事業者と共催し、ポスター掲出をするなど、啓発への取り組みにも努めております。

以上